科目名				担当教員
特講・社会福祉学 22（精神科多職種アウトリーチ支援～これからの地域精神保健福祉）				西尾　雅明
科目コード	科目単位	スクーリング単位	履修方法	配当年次
DT2222	1	1	S（講義）	1 年以上
生成 AI 利用レベル		試験（スクーリング含む）　：　C		

※この科目の会場スクーリングは隔年開講予定です。2026 年度は開講しません（次回開講は 2027 年度）。
※オンデマンド・スクーリングは 2026 年度も開講予定です。
※受講希望者はスクーリング申込締切日までに履修登録とスクーリング申込みが必要です。
※本科目は、2020 年度より「特講・社会福祉学 17（ACT）」（科目コード DT2217）から「特講・社会福祉学 22（精神科多職種アウトリーチ支援）」（科目コード DT2222）に科目名が変更されました。
※「特講・社会福祉学 17（ACT）」（科目コード DT2217）を 2018 年度までに履修登録済の方へ。
・単位修得済の方→そのままで登録変更いたしません。
・単位未修得の方→「特講・社会福祉学 22（精神科多職種アウトリーチ支援）」（科目コード DT2222）に登録変更いたしました。

科目の概要

■科目の内容

地域精神保健に関する援助理念や実践的な取り組みについて、国際的な流れとともに今後のわが国の方向性を、ACT（Assertive Community Treatment）をはじめとする多職種アウトリーチ支援プログラムを通じて学んでほしい。

■到達目標

１）多職種アウトリーチ支援がどのようなものか、その援助理念や構造について述べることができる。
２）海外や日本での取り組みについて解説できる。
３）ACT など多職種アウトリーチ支援とつながりが深い、個別就労支援プログラムについて説明できる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「人と社会の理解力」「倫理的実践力」「開発・創造力」を身につけてほしい。

■教科書・参考図書

【教科書】

スクーリングにあたって教科書は使用しません。

■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	多職種アウトリーチ支援総論①	その意義と必要性は何か？
2	多職種アウトリーチ支援総論②	モデルとしてのＡＣＴ
3	多職種アウトリーチ支援総論③	実践するうえで重要な援助理念

4	多職種アウトリーチの実践から	チームのＰＳＷからの報告
5	多職種アウトリーチ支援総論④	支援の構造
6	多職種アウトリーチ支援各論①	地域における家族支援
7	多職種アウトリーチ支援各論②	チームアプローチの実際
8	クロージング	補足とまとめ
9	スクーリング試験	

※オンデマンド・スクーリングでは、上記の講義内容と異なる場合があります。

■講義の進め方

配付資料をもとにパワーポイントを使用して講義を進めます。

■スクーリング　評価基準

スクーリング試験 100%（配付資料のみ持込可）。試験では、とくに到達目標記載内容についての理解を問います。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

関心あるテーマについて、自分なりに学びたいことを考えてきてください。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25 時間）

到達目標が達成されるよう、配付資料を活用して復習をしてください。